

船舶からの水中放射雑音の 海洋生態系への影響



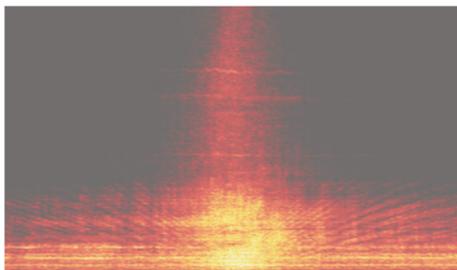
キーワード 船舶水中放射雑音、海洋音響、海洋生態系

酒井 政宏 SAKAI Masahiro

地球総合工学専攻 助教
船舶工学講座 船舶知能化領域



ここがポイント！【研究内容】



船舶通過時の受波レベルの変化

- 船舶からの水中放射雑音の海洋生物に対する影響が懸念されており、国際物流を支える海運と海洋生態系保全の両立が課題となっています。
- 音響伝搬計算や実海域における船舶水中放射雑音の計測に基づく、船舶水中放射雑音の推定・低減法の検討、および海洋生物への影響評価法の検討を行っています。
- 関係機関と共同で2020年に3つのハイドロフォンを海中に設置し、日本近海を航行する船舶の水中放射雑音を含む水中音を2か月間連続で録音しました（左図）。

応用分野 船舶海洋工学、海洋音響

論文・解説等

- [1] 酒井政宏ら, 浅海域における船舶からの水中放射音の計測とノーマルモード法による音源音圧レベルの推定, 日本船舶海洋工学会秋季講演会 (2020)
- [2] 酒井政宏ら, 第14回推進・運動性能研究会 (2019)

連絡先 URL

<http://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/naoe/naoe5/jp/>

